令和6年 9月10日 印刷 令和6年10月 1日 発行

編集人:有 馬 慎 吾 発行所:宮崎市霧島1丁目1番地1 宮崎県経済農業協同組合連合会

電話(0985)31-2100 http://www.kei.mz-ja.or.jp/ 印刷所:宮崎市大字赤江字飛江田931 宮崎紙工印刷株式会社 電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!! 毎月1日は牛乳の日!

NO.635 **2024年10月**

















写真投稿キャンペーン #牛乳飲み顔選手権

10月号目次

酪農情勢報告 •••••	1
ルーツを訪ねて!・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
戸数·頭数調査 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3
飼料価格改定 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4
農作業安全対策について・・・・・・5~	~ 6
ミルクラン/写真投稿キャンペーン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
第8回九州連合ホルスタイン共進会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

農学部ナンノ教授のひとりごと・・・・・・・・・・・ (
全酪連広告 ・・・・・・・・ 1(
全農広告 ・・・・・・・・ 裏表網







ILK UP! 経済連HP

酪農情勢報告

1.生乳生産動向

令和6年9月13日現在

指定団体	8月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)	
北海道	327,845	101.9	1,665,073	99.8	
東北	35,729	96.2	190,167	95.3	
関東	77,771	96.9	429,645	100.1	
北陸	4,924	95.8	27,464	95.8	
東海	21,761	96.4	121,641	98.0	
近 畿	10,504	98.4	58,219	100.3	
中国	21,999	99.8	120,666	101.1	
四国	7,553	94.4	41,696	96.6	
九州	40,581	96.2	228,053	99.2	
(内、宮崎)	5,107	100.3 28,437		102.5	
都府県	220,823	96.8	1,217,551	98.8	
合 計	548,667	99.8	2,882,624	99.4	

2. 販売状況

令和6年9月13日現在

用途	区分	8月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	238,852	98.2	1,229,640	97.0
欧州十孔	九州	28,138	93.8	158,400	96.7
はっ酵乳等	全国	37,849	100.8	184,394	99.2
はり野孔寺	九州	7,944	106.5	37,744	104.0
特定乳製品	全国	129,923	101.9	743,910	102.0
付此孔装吅	九州	2,342	90.7	20,578	118.1
生クリーム	全国	107,080	100.4	539,803	101.3
生グリーム	九州	2,063	99.1	10,869	92.2
チーズ	全国	34,964	100.7	184,878	100.5
<i>F</i> -X	九州	94	99.3	461	97.0
合 計	全国	548,667	99.8	2,882,624	99.4
	九州	40,581	96.2	228,053	99.2

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3.生乳出荷量別生産者戸数 8月

生	戸数		
100 t 以上			4戸
80 t 以上	\sim	100 t 未満	3戸
60 t 以上	\sim	80 t 未満	2戸
40 t 以上	\sim	60 t 未満	20戸
20 t 以上	~	40 t 未満	69戸
10 t 以上	~	20 t 未満	50戸
10 t 未満			24戸
合		計	172戸

最高出荷量 438t/月 平均出荷量 30t/月

4.トピックス

災害対策の備えに「ロングライフ牛乳」が有効!

吹く風もさわやかな秋晴れを感じられる季節となりまし た。今年の残暑は大変厳しく、9月に入ってからも35℃を 超える猛暑日が続きました。また、8月下旬に襲来し、猛威 を振るった台風10号の接近により被災された方々、被害 を受けた農業及び畜産関係者の皆様に対しまして、心より お見舞い申し上げます。本県の農水産業への被害は、暴風 雨・突風等による園芸・畜産施設の損壊や野菜果実・飼料 作物への被害、家畜では鶏・豚の死亡、水産は施設の破損 により養殖ウナギが死ぬ等の被害が発生しております。酪 農関係については、飼料用トウモロコシの倒伏・折損や施 設の一部損壊等はあったものの台風の影響による生乳の 廃棄に至るような被害はありませんでした。これもひとえに 酪農家皆様の台風への備えの賜物と感謝いたします。今回 襲来した台風10号ですが、規模が大きく、速度が遅く、非 常に強い台風で暴風雨・停電等による被害が発生しており ますが、県内2市4町、延べ8箇所で発生した「竜巻と推定 されるもしくは竜巻の可能性が高いと判断される突風」に よる被害が目立ち、家屋や自動車、農水産業施設等に甚大 な被害をもたらしました。九州の南の海上で台風が停滞し たことで竜巻が起きやすい条件がそろい、同時多発的に竜 巻が発生したそうです。近年は、地球温暖化の影響等によ る気候変動が目まぐるしく、いつ何時、地震も含め、想定外 の自然災害に見舞われてもおかしくない状況ですので、日 頃の防災意識と防災対策、万全の備えが大変重要である と痛感いたしました。

防災対策・取組み等の備えは様々ですが、その一つとし て、防災グッズや災害時に必要な備蓄品の備えがありま す。一般的には、照明器具・情報収集ツール・衛生用品・季 節用品・医薬品・食料品・飲料水等が挙げられますが、特に 食料・飲料では、レトルト食品や缶詰め、ペットボトル飲料 等の長期保存が可能であり、それらを多めに買い置きし、 日常的に賞味期限が近づいたら使用し、その分を買い足 す方法である「ローリングストック」が効率的で備蓄のコツ となります。災害時には、水分と栄養補給が重要であると 考えられ、これに適しているのが常温での長期保存(約9 0日間)が可能であるLL(ロングライフ)牛乳が有効です。 約30年前に発生しました阪神・淡路大震災での支援等で 注目され、LL牛乳は、健康面で不足しがちなカルシウムや たんぱく質が補給でき、精神的なショックを和らげる効果 もあり、冷たくても温めても心と体に効果的です。今年も年 末納品に向けて、九州管内におけるLL牛乳の特別推進を 実施いたします。今回は、諸情勢を鑑み、バターの推進を 休止し、LL牛乳のみの推進ではありますが、酪農関係者 自らが、消費拡大運動を行うことで、少しでも需給改善につ ながりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしく お願い申し上げます。

一唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である-

酪農課 加藤 喜博

ルーツを訪ねて! 「老牧夫回想録」より(高橋照次著)

十一月三日(日)晴

十一時十五分シドニー空港発

約一時間でZX-NZA機は広漠果でしなき不毛の地を西北にとび続ける。赤茶けた露岩地帯が多く草木の生えている様子もない。眼下を白雲が悠々去り又来る。時速九○○k以上と思われるが、三時間以上も不毛地帯をとんで漸く海が見えて来た。この間小さなダムが一つ見えたきりだった。

第三篇 考えさせられたこと

(1) 視察成果を高めるための基礎知識の不足、今回の視察では、戸塚先生が自ら団長となり、全期間馴れない一行の世話から通訳まで、女性と思えない程タフな努力を続けて下さったにも拘わらず、いざ記事を纏めてみようとすると、わからないことが次々と出て来る。例えば農業経営に極めて関係の深い国家財政における農業予算、土地制度、税制、農業融資制度等遂に聞かずに終ってしまった。

出発直前まで南九州の市乳販売格差是正問題の仕上げに、全力を傾けていたゝめ、あらかじめ渡された"ニュージーランド紹介"と云う小冊子を一読したのみで、予備知識を持たずに参加したのだから、視察間に考える心の余裕も持ちあわせなかった。その上文字にして渡されゝば大体わかるが、もともと弱い英会話は三五年も全く遠ざかっていたのだから、どうにもならない。

帰ってから職員に訴えた第一声は"簡単な英会話能力を持たない者は、海外視察の資格はないと思わねばなるまい。将来のため心掛けてほしい"ということであった。

(2) 草について

ニュージーランドの経済は草造りに初まると云っても過言ではない。出発前夜、雪印種苗の岡本次長から多少予備知識を与えてもらったのだけれども、残念乍らニュージーランドでは、度胆を抜かれてしまって、掘り下げて調べることもできなかった。それが単なるイタリアン・ライグラスなのか、それともエッチ・ワンなのかさへ、明確な答は得られなかった。このことは裏を返せば、相当草の研究していると思われる機関に勤める人々でさえ、気がつかないくらいに、この草が昔から浸透して居り、この牧草が直ちにグラスそのものとなっているため、とも受けとれる。

ラッセルさんは"アラビヤの草を持って来て永年牧草の研究もしている"と言ったが、ルアクラ試験場で集約飼育試験をしていると云う中に、遂に草の細部については教えてもらえなかった。私としてはデーリーボードにおける会長以下との会見の場を初めとして随所で草のことをきいたつもりだが、はっきりしない。私が草にこだわるのは南九州に於てはイタリアンライグラスに越夏能力がないのに気温の余り違わないニュージーランドで数十年の永年牧草となっているからである。

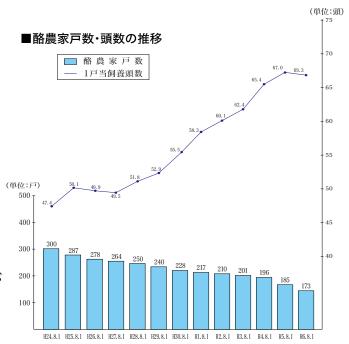
ひるがえって、わが国に於てはニュージーランドのイタリアン・ライグラスの如く、単一化されて定着した草に乏しいことが痛感される。気候と、経営面積の差から来ているとも思われるが、イタリアン・ライグラスと青刈りデントコーンを主軸として、いろいろアレンジされているとも受けとれるが、少なくとも気候に大差のない九州では"この草をこのように組み合わせる"と固定したものがあってもよかろう。これがないのは、私達の努力が足りなかったことに外ならないと、深く反省させられた。

酪農家戸数·頭数調査(令和6年8月1日現在)

酪農家戸数173戸

令和6年8月1日現在の酪農家戸数は、17 3戸(前年比93.5%)、乳牛総頭数は11, 997頭(前年比96.8%)、経産牛頭数は 8,419頭(前年比98.6%)となっていま す。1戸当たり総頭数は69.3頭で前年より 2.4頭増加しています。

年間で酪農家の廃業が12戸ありました。 酪農廃業の主な理由は、体調不良による廃業が1戸、高齢による廃業が5戸、後継者の 不在が1戸、経営不振が3戸、労働力不足が 1戸、和生経営移行が1戸でした。

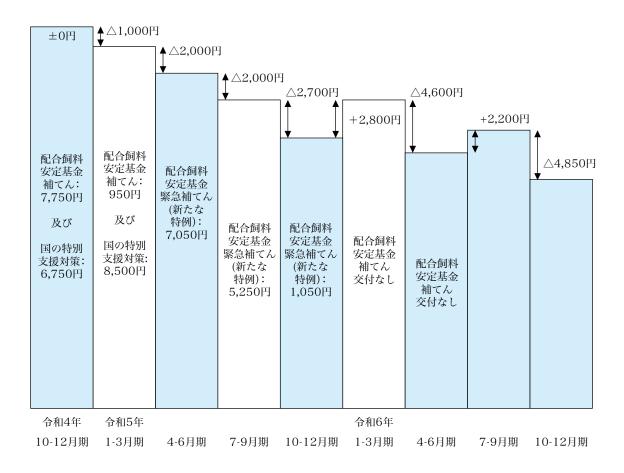


酪農家戸数頭数調査

(令和6年8月1日)(単位:頭)

項目 農協名	酪農家 戸 数	乳 牛 総頭数	一戸当 総頭数	経産牛 頭 数	一戸当 経産頭数	搾乳牛 頭 数	乾乳牛 頭 数	初妊牛 頭 数	育成牛 頭 数
こばやし	31	1,529	49.3	1,043	33.6	913	130	147	339
えびの市	9	588	65.3	411	45.7	370	41	71	106
計	40	2,117	52.9	1,454	36.4	1,283	171	218	445
都 城	76	4,759	62.6	3,424	45.1	2,927	497	452	883
南部酪	18	1,191	66.2	850	47.2	697	153	121	220
計	94	5,950	63.3	4,274	45.5	3,624	650	573	1,103
尾鈴	10	824	82.4	585	58.5	473	112	79	160
児 湯	7	907	129.6	574	82.0	488	86	104	229
西都	6	1,123	187.2	788	131.3	697	91	191	144
宮崎中央	2	383	191.5	279	139.5	236	43	24	80
延 岡	2	50	25.0	48	24.0	39	9	2	0
計	27	3,287	121.7	2,274	84.2	1,933	341	400	613
串間酪	12	643	53.6	417	34.8	352	65	71	155
総計	173	11,997	69.3	8,419	48.7	7,192	1,227	1,262	2,316
令和5年8月1日	185	12,390	67.0	8,537	46.1	7,343	1,194	1,280	2,573
増減	▲ 12	▲ 393	2.4	▲ 118	2.5	▲ 151	33	1 8	▲ 257
前年比	93.5%	96.8%	103.5%	98.6%	105.5%	97.9%	102.8%	98.6%	90.0%

配合飼料価格改定の推移について(令和6年10~12月期)



1.主要因

①とうもろこしのシカゴ定期は、6月上旬には450セント/ブッシェル前後で推移していたが、6月28日米国農務省発表の米国産とうもろこしの作付面積見通しが事前予想を上回ったことや、米国産地でとうもろこしの育成に適した天候となったことなどから下落し、現在は400セント/ブッシェル台で推移している。一方、シカゴ定期に加算される内陸産地からの集荷コストなどは、シカゴ定期の下落を受けて農家売りが低調になっていることなどから上昇している。

今後は、米国産新穀の豊作が期待されるものの、南米産地において乾燥による作付けの遅延が懸念されており、相場は底堅く推移するものと見込まれる。

②大豆粕のシカゴ定期は、6月は400ドル/トン前後で推移していたが、米国産地で大豆の生育に適した天候となったことなどから330ドル/トン台まで下落した。その後、米国産地での乾燥懸念などから上昇し、現在は350ドル/トン台となっている。

国内大豆粕価格は、シカゴ定期の下落および為替円高の影響などから値下がりが見込まれる。

2.海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、6月は60ドル/トン前後で推移していたが、8月には航海日数の長い南米産穀物の輸送需要が減少したことで船腹需給が緩和したことなどから下落し、現在は50ドル/トン台前半となっている。

今後は、北米産新穀の輸出が本格化することから、海上運賃は底堅く推移するものと見込まれる。

なお、パナマ運河は依然として通航に事前予約が必要な状況に変わりはないものの、1日あたりの通航可能隻数はほぼ平常時の水準に改善している。

全国全畜種総平均(全農系)トン当たり4,850円値下げとし、銘柄別に決定する。

農作業安全対策について考えてみよう!!



1 はじめに

農業は機械を使う作業も多く、作業中の事故のリスクが高い業種の1つです。さらに、畜産においては、家畜が原因での発生もみられます。特に、飼料作物の収穫や作付けの時期など、忙しくなると安全確認が不足しがちとなります。日々の安全対策のチェックをしっかり行い、農作業に従事しましょう。

2 農作業事故の発生状況 (図1)

死亡事故の約 3/4 が農業機械によるものです。機種別では農業型トラクターが一番多く、次いで歩行型トラクター、農用運搬車となっています。その他の機種も含め「転落・転倒」による投げ出され・下敷きなどが多く発生しています。また、機械以外での事故も 1/4 ぐらいあり、特に熱中症と脚立などからの転落が多くなっています。

3 農作業事故の要因(図2)

農作業事故は複合的な要因で発生します。事故は人間のミス(ヒューマンエラー)で起こると思われがちですが、他の要因が加わることでさらに事故発生リスクは高まります。

事故の要因の種類には、「人」、「機械・施設」、「作業方法」、働く現場の「環境」の4つが挙げられます。

「人」に関わること以外の要因を改善することにより、人がミスしても被害を小さく抑えることができますので、改善に努めましょう。

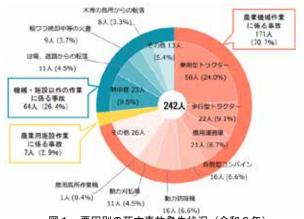


図1 要因別の死亡事故発生状況(令和3年)

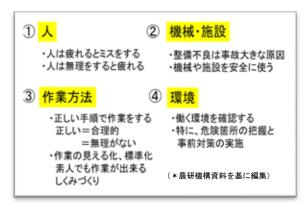


図2 農作業事故の要因

4 農作業事故の事例と対策(農作業安全リスクカルテ素材集より)をチェック!

①家族、従業員等への農作業安全研修、②日々の農作業前の農業機械の点検やほ場の危険な場所の確認、そして③熱中症対策の準備を十分に行い、農作業安全対策をすることが大切です。

農作業事故の事例や対策について一般社団法人日本農業機械化協会のホームページに啓発資料や動画が掲載されています。その中で、啓発資材・リスクカルテ制作検討委員会が監修した「農作業安全リスクカルテ素材集」の中から畜産経営で起こりやすい農業作業機械について事例と対策について次に示しましたので、農作業安全チェックしてみましょう。

(事例) 農業機械作業について

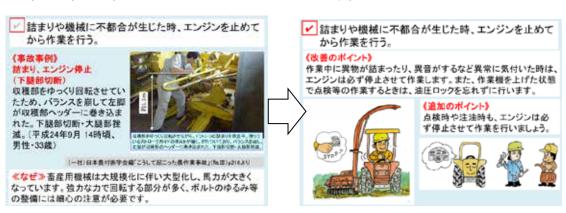


*項 チェック内容 チェック項 対策 そうだ ちがう 優先 協議りや機械に不都合が生じた時、エン ジンを止めてから作業を行う。 組み作業における合図を決め、機械の 稼機中は近寄らない。

※チェック内容は、各農家で違いがありますので、他にもあれば事故の事例と原因、その改善のポイントを考え対策していきましょう。

①機械の不具合時の対応

(改善のポイント)



② 機械の不具合時の対応

(事故の事例と原因)

(事故の事例と原因)



(改善のポイント)



その他、家畜との接し方や天候の変化により危険が伴うこともありますので、日頃の農作業の中で考えられる作業でチェックするポイントを整理しましょう。

5 おわりに

農作業安全対策は、家族や従業員など全ての作業者で積極的に情報共有し、活用していくことが重要です。作業中にヒヤッとした体験があった段階で、なぜそうなったのか、どうすれば防げたのかを皆で共有することは、農作業事故防止につながります。

また、万が一の時に連絡が取れるように、ちょっとそこまで行くことがあっても 携帯電話を身につけましょう。

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

酪農宮崎企画「この人を知る」一ミルクランー

兼田恵梨香

【所属・プロフィール】

所属

NOSAI宮崎 本所 診療業務課

出身 宮崎県宮崎市

出身学校 宮崎大学

仕事の概要 繁殖検診などの巡回業務、診療事務

(酪農家の皆様へ)

皆さんが作ってくれた牛乳のおかげで、うちの娘たちは 元気に育っています。有難うございます。

酪農家の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、 よろしくお願いいたします。 江守 温

【所属・プロフィール】

所属

NOSAI宮崎 児湯家畜診療所

出身東京都立川市

出身学校日本獣医生命科学大学

仕事の概要 牛の診療

| 酪農家の皆様へ

4月から獣医になり、皆様にはいつも勉強させていただいてます。牛乳を飲んで健康に仕事をがんばっていきたいと思います。



みやざきMilk Up!#牛乳飲み顔選手権 写真投稿キャンペーンを実施しました!!!







令和6年8月1日~31日まで「みやざきMilkUp!#牛乳飲み顔選手権 写真投稿キャンペーン」を学校給食が休止となる夏期の飲用牛乳の消費拡大に繋げるため実施しました。

期間中にインスタグラムにて「#牛乳飲み顔選手権」とつけた写真か動画を投稿すると抽選で宮崎牛が当たるキャンペーンで、日常生活やプール、キャンプなどで牛乳を飲む様々な良い顔の写真や動画が投稿されました。

詳しくはみやざきMilkUpの公式アカウント(@miyazaki.milkup)またはホームページ (https://miyazaki-milkup.jp/)をご覧ください。

JA宮崎経済連 酪農課 海野 真衣





農学部 ナンノ教授のひとりごと

持続可能な食肉の未来とは?

2024年の世界人口は81億人を超え、35年後には100億人を突破すると予測されている。限りある地球資源の中で人類が生きるための食糧確保が必要であるが、温暖化や各地の紛争・戦争の影響で食糧安全保障が脅かされており、異常気象の頻発による収穫面積の減少や農業労働者人口の減少も相まって、食料生産増加を阻む要因が複数存在する。今、未来の畜産業のあり方が問われている。

世界の歴史において、国の経済が成長し、一人あたりの所得が向上するにつれて食生活は変化する。 世界の食料需要量のうち、畜産物の需要量は2050年には2010年比で1.8倍となる見通しである。畜産物生産には飼料穀物が必要となるため、畜産物の生産量が増加すると穀物需要も増加する。家畜用に生産されている穀物需要の増加をできるだけ抑えるには家畜の生産性、すなわち受胎率や妊娠率、分娩率などの繁殖成績を向上させ、家畜伝染病の防除を徹底することが産業動物の繁殖や獣医療に携わる関係者の使命である。

他方、"次世代の食肉生産"の試みもある。動物から採取した細胞を増やし、再生医療や組織工学の技術を応用して筋肉の構造や機能を再現する培養肉や、豆類を使った植物性代替肉、麹菌を大量に培養して作る"菌肉"などである。しかし、まだまだ本物の肉の美味しさの再現には至っておらず、大量生産やコストの面でも課題がある。

食肉加工や流通関係者、そして消費者においては、いかにフードロスを少なくできるか、言い換えれば生産から消費までのルートにおいて、どこまで効率的に肉を有効利用できるか、を考えなければならない。肉の食品ロスには生産段階のロス(食肉加工場で肉がカットされる際に発生するロス、品質検

南野 快

査で不適合と判断された肉製品の廃棄など)、流通・販売段階のロス(スーパーやレストランで売れ残った肉製品、賞味期限が切れた製品の廃棄など)、そして、消費段階のロス(家庭や外食で調理されずに廃棄される肉、調理過剰による余剰部分の廃棄、食べ残し等)がある。これらのロスは工夫次第でまだまだ減らせる。味は変わらない規格外、端材の肉の利用もその一例である。

人類はただ生存するためだけではなく、人として 誰もが嗜好に合った食べ物を得ながら活動的かつ 文化的な生活を送れる社会を形成することを目指 す生き物である。もちろん、環境問題や食料問題を 考える理性も持っている。とはいえ短絡的に「肉を 食べない」ことで解決する話ではない。人が食する ことができない草を食べ、人に良質なタンパク源を 供給してくれるのも牛である。また、動物をいただ くことで逆に命の尊さを知り、動物との共生をより 深く考えることもできる。



写真: 台風・突風(竜巻)の被害のお見舞いを申し上げます。 嵐が過ぎ去った後、8月30日の夕焼け。



崎

全国酪農業協同組合連合会

くみあい配合飼料 乳配

くみあい配合飼料

フレーク&ペレット

▶ 乳配M

- CP 17.0% TDN 72.0%
- ヘイキューブ、綿実を多く配合し たミックスタイプ



▶ 乳スタンダード

- CP 17.0% TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳 牛用配合飼料



> 乳ブレンド18

- CP 18.0% TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

> デイリープレミアムM

- CP 17.0% TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



▶ パワーSマッシュ

- CP 17.0% TDN 74.0%
- シンプルな内容で低コストを実現

